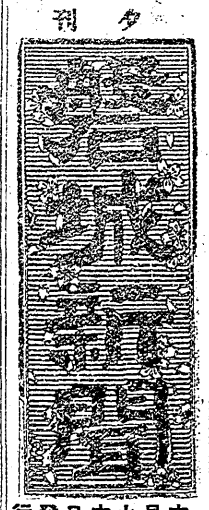
夕刊
六月十六日發行
定價 郵便物送料共 月金六拾五錢 郵送料共 金六拾錢 郵送料共 一箇月金一圓
廣告料 一段一行 金拾錢 特殊欄 金十二錢 一行 金拾錢
編輯兼發行人 磐城新聞社 福島縣平市大字平字鍛冶町
印刷人 佐藤有
印刷所 磐城新聞社
東京特約一〇六五五八番



張家口通信

石橋柴子

〔8〕

さゝれる人は運の悪い人だと云つてゐるが、大抵の家にはゐるらしい、特に城壁には多く居るとの事、三度天井から落ちたのを捕へたと云つて見せられたが手長蝦の樣に大きなはさみを持ち、二三寸位の薄綠色のグロテスクな恰好をしてゐる。殺逸の不合は城壁下にあるので警察區域、毎朝着物や服を調べたり、靴の中を檢査する事が習慣となつた。毒は頗位でさいても赤ん坊で無限に死なぬと云ふ。華人の說明力のので好く了解出來なかつたが、非烈に痛くて二十四時間經にぬと痛みが止まらぬとの事である。

◎飲料水

水は硬水で、鹽分やアルカリを含んでゐるとかで、一度煮沸しないと飲料に供せられない。煮沸した湯を茶碗につぐと相當多量に石灰の樣なものが底に沈澱する。生水を飲むと胃腸を害し、喉にこぶが出來るそうだ。

華語で飲む水の事を『冷開水』と云ふ。開水は湯の事であるから、日本語で云へば『湯ざまし』である。

各家毎に井戸はなく、市內の各所に井戸屋と云ふ樣なものがあり、桶に一杯とか月いくらとか定めて、苦力が各戸に配給してゐる井戸は相當深いらしく、巻上げ機を使用してゐる、白い事に釣瓶は柳の細い枝を編んだ籠で、水につけるから漏らないのだそうである。

× × ×

以上の外通信したい事項は山あるが、支那ならでは見られぬ珍しい事等は一つづつ詳しく書いて見たい思ふ。又胃を惡しして一ケ月のまぶら〳〵してゐるので、附近の名所等も全然見ぬない。

內地の人の興味を持つてゐる事で、全然關係でない事も多いと思ふが、以上に依つて防共地域蒙疆張家口の一部分を認識して頂ければ幸甚である。

（民國二八、五、一八）

賀麻植君榮轉高萩驛長

琴雲　小野勝平

正是黃鶯出谷天
賀君今日遇榮遷
奉公多歲推堅節
德者餘慶走偶然

△强賊袴垂保輔獄に自殺す（永延二）△公卿諸侯の稱を廢して華族とす（明治二）△五相會議開かる（昭和一三）

講談

恩讐無道

久我莊多郎
香川三十代吾

（128）

人の巻

南京花火　十九

『おゝ、よく來た』

例の華麗な應接間に通されて、待つ間もなく、微んみ帶を種島は極嫌よく現はれた。

『どうしてゐる？すつかり暑くなつたなあ』

『ばね』

ドツカリと椅子へ腰を降ろした種島　惣介は敬心の目で見て

『左樣。いよ〳〵夏がまいりました』

『うむ。これからは、君たちの勤務は樂ちやない。まあ確かりやつてくれ——深見君、今夜にゆつくりしてゐていゝのだらう』

『は？』

『いや、歐米視察に行つた兵部省の井上友實君か、士產だと、つてあちらの、牛粹のウイスキヤをくれたのだ。こちらでは、ちよつと飲めんぞ。君にもそれを御馳走しようと思ふのだが……』

『恐縮です。閣下』

『なあに、君は、飲める口だらう？なら、遠慮はいらん。ガン呑かないんだ。枝豆くらゐ——辛抱してもらえんだなあ。はゝはは』

種島は、手をにゝいて惣介を呼ぶと、それを命じて、すぐ、赤い紙の貼つた角瓶と、小さなグラスを二つ運んで來る。肴には枝豆、それに近ごろ銀座で喜出してゐる冷肉が、卓子の上へならんだ。

『さ、やり給へ』

『は——では、遠慮なしに……』

惣介は眞面目に、現在の自分の心境を物語つた。それから、かげゝふ賊に對する前々からの決心も附加へた。

『私情からもわたしは、かげらふと名乘る不敵な賊、氣付かないから、かうしか眞ッ正面からぶッ付かつて親切には、とゝ〳〵感激行きたいと思つて居ります。それをするには、自由に駆け廻いる探索が、望ましいのです——』

『なるほど』

かゝく目を閉じ、ふむふむと頷いて聞いてゐた種島は、こゝで瞼を開いて、いくらか赤く、トロンとしてゐる。

『なにか話？』

『はい。實はおねがひがありまして、今夕參上したのですが……』

種島は、ち江の一件で惣介が來たものとその訪れを告げられた時から、思つてゐた、で、取つて置きのウイスキヤまで持出したものだ。

『わたくし、探索に廻していたゞくわけにはまゐりませんでせうか？』

『探索？』

話の見當が違つてゐるから、險のある眉がちよつと上つた。

『それアなんのことだ？』

『贅澤で申し上げるのではありません。たゞ、わたくしとして、この上の御奉公がはげみたいものですから』

『時に、閣下』

惣介は、膝を揃へた。

『う？』

と、見返つた種島の目は、こゝで瞼を開いて、いくらか赤く、トロンとしてゐる。

『貴公なら、探索のお役もきつとつとまるだらう』

『お許し下さいますか？』

『なんとか、善處してみる考へだが、ところで、深見君』

言葉の調子を改めて。

『この間から、君の妹さんに頼んでゐたことは、どうなつたらう？』

『ねがいとは、どんなこと——ですか？』

『探索？』

『なるほど』

かゝく目を閉じ、ふむふむと頷いて聞いてゐた種島は、こゝで瞼を開いて、

『貴公なら、探索のお役もきつとつとまるだらう』

『お許し下さいますか？』

『なんとか、善處してみる考へだが、ところで、深見君』

言葉の調子を改めて。

『この間から、君の妹さんに頼んでゐたことは、どうなつたらう？』

湯本短歌會詠草（十）

卽詠題『湯本溫泉』

○湯ゐやぬち井端に柿のあかし町、磐城湯本ははるけくなれり（磐湯本の朝）　松村清

○手拭ひにしみし湯の香をなつかしみ、野天の風呂にわれひたり居ち（入山）赤井樣男

○遠く來て家並の低き町ながら、軒にさきげる山躑躅を見つ　波邊薩二

○久々のこの人びとにまみえんと、駒下駄かるく來ー湯本なり　野本多霞夫

○石炭の煙にすゝけし樹の肌と、さすらつ海の遠鳴りを聞く　森花菜

天氣豫報

小名浜測候所報告

今曉　北東の風晴
後曇
明日　同じ

幾年か箪笥に秘めし亡夫の衣、梅雨にしめりてかび生えにけり

ちよ子

電話增設ノ御知ラセ

コノ度電話一三七番ヲ增設致シマシタカラ精々御利用下サル樣御願申上マス

平電話（一三七番（店舗）　一三七番（店舗）新設　一三七番（店主宅））

福島縣平市田町二番地
阿部石炭商店
阿部與右衛門

診療
外科一般　內臟外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
血液檢査毎日
◎入院隨時
平市新川町（電四六四）
醫學博士　北川芳夫

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に
先づ下さる御相談……
平市本町二丁目　玉屋

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地（警察署通り角）
（醫診療所　平市六丁目）
外科一般　內臟外科　性病科　肛門病科
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九番
◎入院應需

高島屋の洋服
中等學校　特賣大正服……
男女學生服
新入荷
品製既ニ並文注
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

强い自轉車とリヤカー
フタバ商會
新川町郵便局裏

◎尚武節句ノ御引物ニハ是非
伊東屋の御進物品ヲ
丈夫で安價に體裁よく
品物豐富に取揃アリマスカラ何卒御來店の程を
特賣期間＝十日ヨリ二十日マデ十日間
平市四丁目局前（電呼二一七番）
和洋家具漆器
伊東屋家具店
本店　平市新川町二〇一
製作所　平市新川町二二（電呼五〇番）

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
美マルミ粉末石鹼
製造元　平市材木町一一

神經痛・ロイマチス
漢方塗布藥白芨根
藥價　三錢　五錢　五〇〇錢
陸海軍病院御用藥
平代理店　丸亀商店
平市大町　電話一三三番

登錄商標
優等賞受領
稻萬歲妻
植田町
古川酒造店吟釀
電話一六番

國は二ッポン・魚は凍魚
日本水產特約
卸賣　平製氷會社
（電二二八・三二六）
タイ　ヒラメ
エビ　甘鯛
白魚　マナ鰹
帆立貝柱
冷カツノコ　ウニ貝燒
◎ヒラメ凍魚
平代理店　四丁目
魚問屋
電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス、

平市田町（電話五三一番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹勇雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

稻荷丸　皇漢オルモン藥
◎腹痛……には三粒デキキマス
◎胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキ、マス
◎小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
◎心臟病……少しの運動にもイキ切れドツキの高い方御實驗下さい
◎自動車醉……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◎肺炎……一粒服中に入ればゆ臟を强め精力活力を增加す
キキメ
定價　四十五粒—五十錢　二百粒—壹圓　二百七拾粒　五百五拾粒　五圓　五百五拾粒　五圓
茨城縣笠間町（稻荷神社前）
イナリ丸本舗　金子製藥所
（有名藥局にあり）
代理店——
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四十四話
振替東京三〇〇六五番

平驛前大通り（シンガー）
ミシン店
世界代表シンガーミシン
日本代表アサヒミシン
ニッポンミシン
コントロール
◎月賦販賣　◎無利敎授

近く全面的に普及か

小學校の十六ミリ映寫機購入

市郡下で既に十餘校

地方各學校に於ける教育資料としての十六ミリ映寫機購入は市内に於ては極めて最近の事に屬し今更事新しく取沙汰されしめる樣なものゝ、他方面では既に兩三年前から之を實施し現在その設備を有するもの

神谷、大浦、入山、湯本尋高　小名濱各小學校

平商

の六校へ、今回平第一、第二が加はつたわけで市制地として今日の該機購入は、他町村とその馳序を顛倒したものであるが、尚は以上の外好間、植田、草野、平第二、第四各校が目下購入手配中で市、郡下に於ける該施設に近き將來に於て全面的に普及される形勢に在る。因に右の取次ぎ斡旋をなす市内紺屋町佐々木書店では過般來店員が東京の取引店に出張前後三ヶ月に亘る講習を受講中で今後同機の故障等は略ね同店に於て修理出來る事になつてゐると

あすは降るか？

今朝の豫報農家に有望

普通なら土の蕊まで水氣が滲み込まねばならない入梅の事年ら慈雨を待つ農家で第四日目の昨十五日が、今は只管降りを待ち構へてゐる年に入つて一番の眞夏陽氣で、けふも朝來の好晴と云ふ天候續きに、早くも田植ゑ時の水不足を喞ちて居るが今朝の豫報によると

けふは弱い南の風、だん〳〵雲が濃くなる。今晩は風弱く曇り、明日（十七日）は北東の風、小雨と豫報で矢張り曇面の約束を忘れたわけでは無く、愈々梅雨の型に近づいたらしく、思ひ無しか昨日よりは幾分氣温も下つた樣で、凍

鐵釘配給難

植田職工組合悲鳴

植田署管内二町八ケ村の職工組合聯合會では金物統制により釘、針金、亞鉛板等の配給が充分でないので秋山組合長によると釘百二十樽針金十三卷、亞鉛板千六百五十枚の配給方を陳情したも未だ配給がないので組合員は死活問題として目下再陳情の調印取纏中

常磐炭夏季先送り

消費者に買溜め奬勵

東京市内の官廳、會社、一般家庭などで冬季使用される石炭は昨今の貨物輻輳のため船車とも殆どこれに手が廻り兼ね九州、北海道炭の如きは全然入手の見込が立たないので東京鐵道局ではこの情勢に對應し冬季の石炭饑饉を避けるため、從來十、十一、十二月の繁忙期に出旺つてゐた常磐炭輸送の夏季先送りを計畫し山元炭礦並に市内の大口消費者及び問屋筋の協力を求めることゝなつた、常磐炭は從來鐵道、みによつて輸送されることゝなつた、常磐炭は從來鐵道、みによつて輸送されるこれに手が東京市内一般消費額は年三十萬噸で常磐全出炭量の二割を超えて居り、これ等に殆ど秋冬に輸送されてゐたのを鐵道輸送力に割合弾力性のある夏季七、八、九月ごろに先送りさせ一般消費者にも比較的餘裕のある間に買溜めるやう奬勵する計畫でそのために起る金融並に貯炭場などの問題については商工省でも聯絡協議して出來るだけの便宜を圖る豫定である

貯債消化良好

常陽で二百枚追加

貯蓄增加百億圓目標の下に昨十五日から賣出された專

職業研究校指定

平第二と錦校

既報、平職業紹介所管内の所では十七日午後一時から職業指導研究校は錦・平第二兩校と決定した、小學校に於ける職業指導は時局と共に益々重要性を增し縣では文部、厚生兩省の指示に基き、學校と紹介所と緊密な聯絡をとらしめその强化徹底を圖る人的資源を培養し國家の要望を達成するに共に更に此機能を强化するため縣下九紹介所に二校宛の職業指導研究校を設定、縣より題目を示してこれが研究を委託するものである

高橋郡專局長來郡

高橋郡山地方專賣局長は來る十九日植田方面の葉煙草耕作狀況を視察する

同方面の煙草は植付後の生育が極めて順調で去る十二日本省河西收納部長が出張し好成績優良の折紙をつけた程である

東北健兒の活動

他部隊を驚かしむ

元入山從業員　藁谷儀一君（信）

漢口の曠野より駒を進め强襲並に掃蕩を後に乘船九江に上陸致しました。當時は天候は毎日々々雨天續き待機中命令下にて非常な難儀をし東北より南昌攻略戰に參加致しました。愈々總攻略戰となり第一線に兵部隊一處に前進追擊に〳〵難攻不落であつた南昌も遂に占領、途中も出來ない位に切取りました。先日自治會報二月三日號一緒に受納致しました。敵の野砲等も大分分捕りました、各兵器は皆投みました。北支の一廓にわて逃げた者だよ部隊は攻擊が〇〇〇が出來第一次第二前進路は追廻して南昌にせまつたが占領するやいなや命令下り南寧鐵道にそうて後方へ下りましたがこの鐵路はまるで一間おき位に全部切取り線は何處へ持つて行つたやら枕木は全部トーチカ材料にし人間が歩く事は今までに見た事もない死人の山が道路上に横たはつてゐる。斯樣なる努力の結果〇〇〇の各兵人により過般來不用品の取纏めを急だとこ約三十人から算筒やテーブル等二百余點に上つた後十八日午前十時から午後六時迄市内湯本無盡會社樓上に交換即賣會を開催し午島生れ清福洋（四九）に賣却遊興に費消したこと發覺中署に檢擧

陣中を聽く

（415）

不用品を交換即賣

市内奥さん有志により

銃後經濟確立の妙案

銃後經濟確立の一助として不用品の取纏めを急だとこ約三十人から算筒やテーブル等二百余點に上つた後十八日午前十時から午後六時迄市内湯本無盡會社樓上に交換即賣會を開催し午島生れ清福洋（四九）に賣却遊興に費消したこと發覺中署に檢擧

內鄉の貴金屬泥

今春四月內鄉村綴山崎時計（三五）と刹り十五日綴地内で捕る

店から貴金屬類二百余圓分檢擧した

四月二十三日同村宮佐藤茂方の十藏鑑を破つて傳を盜んだ犯人は平署で捜査の結果同村磐炭坑夫西白河郡湯澤町生れ泉品次郎（四四）を取捕へ十五日身柄を小山

郡下で

十九日植田煙草視察

劍道福島豫選へ

磐中から出場決定

磐中劍道部では渡部教諭指導の下に鋭意猛練習を續け近來の進境見るべきものあるも更に一段自信を附けるため、過般福島高商に於て催された近縣中等學校大會にも出場の滿を持し只管大成を期して居た折柄、來る二十五日福島武德殿に於て第十回全國中等學校劍道大會福島縣豫選大會が開かるので正選手五名、補欠一名を選み之に出場する事となり昨今猛練習中である

往く人・來る人

警察界を退いた本田勇治郎氏は二十日午前八時三十分發で赴任するので平署管内警防團長中條で十七日午後五時から公會堂日本間に送別會を開く

會新任平署長柴田鶴作氏も同日着任

福島署警防主任となつた警部補高橋市郎氏並に縣保安課入りの新任部長渡湯政二氏は十八日午前八時三十分發で赴任

米穀調査員更迭　地方の米穀現在高並に販賣高調査の結果同村磐炭坑夫西白河郡湯澤町生れ鈴木幸一

家庭料理

平保健所榮養指導員　成田君子

けふの獻立

五人目豆

大豆　一八瓦約三十六粒

豚肉　二〇　五、三匁

ひじき　四　一、一匁

油　一〇　二、七匁

キャベツ三〇　小麥三分

ノ二枚位

計蛋白質一一、七瓦

溫量二〇四カロリー

〔調理法〕豚肉は油で炒め砂糖、醬油で味をつけお

く、大豆はぴち〳〵炒つて取出し、水につけたひじきをよく炒める、鍋に大豆を入れ、上にひじきをのせ肉の煮汁に砂糖、醬油、水を加へ鍋に入れそのまゝ混ぜないで煮汁がなくなり豆の軟かくなるまで煮込む、豆を器に盛り上に肉をのせる、キャベツは塩もみとす。

廣告

皮膚科　泌尿器科　性病科　專門

診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ

平市田町　江尻醫院　電話六九一

醫學博士　江尻伊三郎

入院隨意

（金銀高價買入マス）

時計　メガネ　平市　ネモト

耳鼻喉科　專門

平市南町一六番地　大和田醫院　電一七〇番

（入院隨意病室完備）

此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計らべく社員一同努力仕るべく候間倍儀の御引立を御願申上候

鐵棒、平鐵、しやふと

鐵管、各種レール類

新品中古入荷仕り候間精々御注文相願度尙諸機械類各種取揃へ御來駕を御待申上候。

敬具

海軍工廠御用達

KS　合資會社　平銅鐵機械商會

平市鍛冶町九〔電話五二二番〕

電略（イ）又ハ（イ七）

振替東京一五七五二二番

倉庫（平市鍛冶町卅三番地　平市鍛冶町九番地）

◆內科、小兒科　院長　前田清美

◆外科（內臟外科、花柳病科）

◆產婦人科　副院長　幸恒忠

◆耳鼻咽喉科　副院長　兒玉秀純

X光線科（手術室入院室完備）

前田醫院　植田町本町／電話一二四番

豫告

毎月二十日は定休日の處今月は二十二日に臨時變更公休させていただきます

六月　平市菓子同業組合

生菓子部　パン部　あられ部

アイスキャンデ　一錢

當店獨特　アヅキカクテル　一個五錢

に幾等にても御居けいたします

五丁目　吉田屋

キャンデー部　電話二二〇番

寶子さん募集

おでん　たつた揚　やきとり　一平　電話二六三番

酒トマヅイ　たでんの　榮ちやん　平市岡町花ノ里　電話三三番

十七日

舊五月　金曜　新六月　乙酉　大安　十七日

日朔　月　朔　午　柳宿

▲一白　終身路を辿つても百歩をまけず先を越すは因▲二黑　鯉を逃がし雜魚を得るも捕らざるには增し▲三碧　危險に近づき居りて自覺せざることある日▲四綠　むれの中を廻る火車せはしくとも秩じよをみだすな▲五黃　剛腹を戒しめ調斷に流れされば逆風向上す▲六白　何となく東ばくさゝ樣な氣持ちの去らぬ日▲七赤　次第に幸運に向くべし氣を和ぐれば更に吉し▲八白　大波も乘り切つてきよう樂の天國に入るべき日▲九紫　やせ我まんをしても結局は骨折損に終るべき日

（小名濱岡鐵病院調）

舊暦前一、三五　千潮前九、一〇　後四、〇五　後九、一五